

IUPAP 専門委員会 2005 年 9 月 5 日
C17 報告 植田憲一

1. IUPAP Election について

IUPAP への推薦リストが確定しており、次期役員には
Kenichi Ueda (Japan), Char, Alexander Kaminskii (Russai),
Vice Chair, Sudanshu Jha (India) Secretary を推薦した。

2. IQEC/CLEO PR 2005 in Tokyo

学術会議主催、IUPAP support による国際会議 IQEC/CLEO PR 2005

(International Quantum Electronics Conference/ Conference on Laser and Electro-Optics Pacific Rim) は、2005 年 7 月 11 日-16 日の日程で、東京、都市センター会館にて開催された。皇太子殿下のご臨席を賜り、1080 名の参加者を得て、成功裏に終了した。開発途上国からの参加やプログラム委員会による論文審査を経た Student Award に旅費の補助を提供し好評であった。今後の IQEC 開催は、ミュンヘン (2007 年)、ロングビーチ (2009 年) の予定である。

3. サテライト会議 LPHYS 2005 および ICUIL について

なお、同会議のサテライト会議として、7 月 4 日-8 日にかけて、けいはんなプラザで LPHYS 2005 (参加者 350 名程度) が開催された。国際会議終了後、ICUIL 委員会にて検討の上、ICUIL 2006 を Cassis, France で開催することを決定した。

4. AMALDI 6th in Okinawa

重力波関係の国際会議である AMALDI 6th 国際会議が 6 月 20 日-24 日の日程で、沖縄名護の万国津梁館で開催され、IUPAP サポートの会議として、IUPAP 日本委員会から Welcome Address を行った。世界の重力波検出グループが集合し、参加者は 190 名 (外国人登録者 150 名弱) と海外参加者の多い国際会議となった。

以上